

CBC 賞

・AI注目馬

<評価 A>

7, 10

<評価 B>

<評価 C>

4, 5

・最終見解

当クラスの中京で行われる芝 1200m 重賞は軽い馬場なら
中距離指向の直線スピードが発揮しやすい舞台。

特にディーパインパクト産駒が走りやすいレース。

本命はスマートクラージュ。

中京芝 1200m のパフォーマンスもすでに高いです。

マッドクールは適性は向きませんが

1200m でのスケールは世界レベルで日本適性も高いダークエンジェル産駒。

相手には入れるしかありません。

エイシンスポッターもディープ系。

ラジオ NIKKEI 賞

・AI注目馬

<評価 A>

2, 5

<評価 B>

3, 15

<評価 C>

4, 6, 7, 8

・最終見解

非根幹距離で主流血統がパフォーマンスを落とす舞台。パワー血統の出番。

本命はエルトンバローズ。

母父ブライアンズタイムは当レースで3頭出走して2勝。

セダブリランテスは母父ブライアンズタイムで父がディープブリランテ。

ディープブリランテ産駒の代表産駒モズベッコも

タフな馬場で行われた宝塚記念で人気薄ながら3着。

JRAの主流競馬で要求されるトップスピードと相反する

パワーを徹底的に強化した血統。

ラジオ NIKKEI 賞は、主流とは相反するパワーを強化することが重要な舞台。

近2走よりも適性の高い舞台。

他の主流血統が能力を発揮できないほど有利。

主流適性が要求されるレースでは抜けて強いのが
レーベンスティール。

能力差と適性のバランスは、
過去の当レースではフィーエールマンに近いでしょうか。

今回はどれだけ能力を落とさないかが焦点。
多少落としても馬券圏内には走れそうという見立て。

コレペティールは母系にブリガディアジェラート。
非根幹距離適性を高いレベルで強化する血統。

兄のキングオブドラゴンも父が主流血統の
ハーツクライ産駒ながら非根幹距離巧者。

グラニッドもディープブリランテ同様、
ディープ系ながらパワーを強化するダノンバラード産駒。

オメガリッチマンはフジキセキの系統でサンデーサイレンスの3×3。
アメリカ系を強化された血統で短縮、内回りは歓迎。